

# 「みんなの日本～沖縄県編」

しま  
島うたパーソナリティ  
おおみね まさひろ  
大嶺 正廣



あお そら あお うみ ちゅ しまおきなわ  
青い空、青い海「美ら島沖縄」

おきなわけん にほんれつとう いちばんみなみ いち どうしょけん おきなわほんとう ちゅうしん しまじま ゆみ ちゅ  
沖縄県は日本列島の一番南に位置する島嶼県です。沖縄本島を中心に島々が弓になりつらなる「美ら  
しま じんこう まんにん す こせい みりよく み しま せんじんたち いさい はな ふんか いまつた  
島」です。人口138万人が住み個性と魅力に満ちあふれる島には、先人達から異彩を放つ文化が今に伝  
えられています。

りゅうきゅうしやう どくりつ あうこく ちゅうざんあうさつと ねんちゅうこく みんちやうこうてい ようせい  
かつて、琉球と称され独立した王国がありました。中山王察度は1372年 中国の明朝皇帝の要請をうけ  
さくほう しんこうかんけい むす さんざん どういつ ことしゆり だいいちしやうし ねん だいにしやうし ねん  
て冊封・進貢関係を結びました。やがて、三山が統一され、古都首里に第一尚氏50年、第二尚氏400年  
あ かく ねんかんあうこくふんか けいせい はんえい きわ  
合わせて約450年間王国文化が形成され繁栄を極めました。

だいいこうえきじたい へ ちゅうこく かんこく どうなん しょこくなど おお ふんか ふんぶつ でんぱ  
大交易時代を経て、中国・インド・日本・韓国や東南アジア諸国等から多くの文化文物が伝播され、  
にほんぜんこく なか どくじ ふんか も おきなわけん たんじやう  
それらは日本全国の中でも独特の文化を持つ沖縄県を誕生させました。

ねん りゅうきゅうあうこく およ かんれん いさんぐん せかい さん とうろく ねんかんやく まんにん かん  
2000年「琉球王国のグスク及び関連遺産群」はユネスコの世界遺産に登録され、年間約600万人の観  
こうきやく おきなわけん あとす たさい ふんか たの  
光客が沖縄県を訪れ多彩な文化を楽しんでいます。

たと りゅうきゅうからて すい なふさ どうまいでい ちとい せん ご おお りゅうは う いま せかい  
例えば「琉球空手」は「首里・那覇・泊手」を基とし、戦後多くの流派が生まれ今や世界100カ  
こくいじやう まんにん からて あいこうか ひろ  
国以上に4000～5000万人の空手愛好家が広がっています。

さんしん やく ねん れきし も がっき さんしんぶんか きやうていあうこくじたいきやうていあんがく せんざい のち  
「三線」は約600年の歴史を持つ楽器です。三線文化は、琉球王国時代宮廷音楽として存在し、後に  
しよみん ひろ しちやうせん でんとうげいのう ふうぞくきやうじ どうじやう さんしんぶんか おきなわけん ちちやうせいかつ ふか と  
庶民に広がり41市町村の伝統芸能や風俗行事に登場します。三線文化は沖縄県民の日常生活と深く溶け  
あ まいにち はじ たから たか な ひび  
合って毎日どこかで弾かれ、宝となり、高らかに鳴り響いています。



ほんくやう ちんぜんげいのう ふる なた あたら なた そうさくたいしゅうだん  
「エイサー」はくは「盆供養」の門前芸能でした。今日では「古い型」と「新しい型」の創作太鼓楽団  
ねんじゅう かんこうさいぜんせん かつやく ねんごろ せんこく おきなわ お さんしん  
が年中、観光最前線で活躍しています。2000年頃、全国に沖縄ブームが起こりました。三線とエイサー  
ひろ ことし せんこく たいかい おきなわけん かいざい にぎ  
が広がり、今年から「全国エイサー大会」が沖縄県で開催される賑やかさです。

しゆりじやう ちゅ うみすいぞくかん おきなわけん せかい ほこ ふんか たから さんしん ぶい めいしやう  
首里城や美ら海水族館をはじめ、沖縄県には世界に誇れる文化と宝があります。「三線の部位の名称」  
てんちしん うちゅうかんねん き うつわ がっき な かみ せんざい つた さん  
には「天地人」の宇宙観念があり、ただの木の器・楽器では無く「神」が存在すると伝えられます。三

線が鳴れば人々は両手を天にかざし、大地にリズムを刻み踊りだします。それは大宇宙への敬虔な祈りと大自然の恵への感謝のしるしと信じられています。琉球の先人達の教えは「万国津梁の鐘」の銘文に「舟を走らせ交易を成し、訪れる人々を厚くもてなす心」でした。これがホスピタリティーの精神です。

さらに沖縄県の食文化は「宮廷料理」の名残で豚肉を中心とする「琉球料理」がブランドとして有名です。豚の「鳴き声と毛」以外に全て食する生活習慣があります。ソーキ・てびち・ラフテー・ミミガー等、独自の風味は亜熱帯の気候風土に適しています。素食に甘んじて、地産地消の島は「荒物上戸や胴元丈」といってそこらへんにある全てのものを食し「健康と長寿の島」を先人から受け継いでいます。

「なんくるないさ」と云う格言はくよくよせず ゆっくりと大自然と共生する様を言い当てています。「人生あわてず どうにかなるさ」とユイマールの精神——相互扶助の心根が息づき、そう教えられています。

沖縄県の北の離島に「伊是名・伊平屋島」があります。第一尚氏、第二尚氏のルーツの島で、心やさしき人々が住んでいます。この島の習慣に「イハジャューテー」と云う言葉が残っています。島の家々の縁側に「お盆と急須・茶菓子」が置いてあります。島を訪れた人の為に、誰でも自由にお茶と茶菓子を頂くことができます。「遠来の客人をお茶でもてなす尊い精神」が先人達から伝えられる美しい習慣です。家に鍵をかけたらずに門戸を開いて客人を迎える。古く沖縄県のどこにでもあった習慣です。

青い空 青い海 沖縄県 日本の中にありながら独特の表情と文化を持つ県です。

あなたがこの島を訪れたらすぐに兄弟（姉妹）ができるでしょう。

《行逢りはチョーデー》心やさしき島人の素朴さは道ですれ違えば皆兄弟と同じ精神風土が育まれています。「美ら島沖縄」は旅するあなたにとって心やさしき人々の住む島なのです。おいでよ！沖縄へ。

おおみねまさひろ  
大嶺正廣プロフィール

- 所属  
E-mail yuiyaomine@gmail.com
  - 出身  
沖縄県那覇市垣花 現在うるま市石川
  - ラジオ放送番組の履歴
    - 極東放送（現FM沖縄） テンミカチ・ドンミカチ・ヒヤミカチ  
お楽しみ琉球民謡 民謡千一夜（1500回）
    - 琉球放送 民謡朝一番（1255回）
    - ラジオ沖縄 民謡の花束 島々の古典 民謡千一夜（601回）  
心よきとこころ今日は（686回）
  - ラジオ「大嶺正廣のふるさとさん今日は」  
平成6年～平成19年2/15（日）まで658回  
沖縄県41市町村18離島市町村の生活力点から放送を実施。  
「個性と魅力あふれる活きづくむら・まちづくり」を捉え、独自性と多様化する時分の自主・自立への活力を訴求し、物産と観光の総合情報を発信。
- 日本全国への学校公演で「沖縄の歌と踊り」を届け、修学旅行の誘客促進キャンペーンや番組と共に旅行を実施。  
国内外への旅行200回の経験で多彩な人脈を持つ。  
「ふるさと沖縄をこよなく愛し、住んでよし、訪れてよしの島づくり」を目指します。  
現在は観光キャンペーンプロデューサーで、若い人材を育成中。